

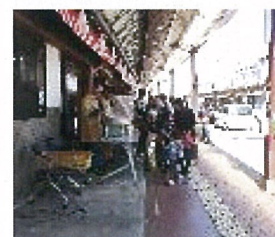
～ 若手を育て、新たな集客を創出する事業 ～

若手商業者の積極的な活動を後押しするための人材育成事業をはじめ、街バル・マルシェ等のイベント事業を実施。「年中いろいろなイベントをやっている楽しい場所」という商店街の積極的なイメージを定着させて集客力を高めた。

所在地：長野県佐久市岩村田765
 TEL：0267-54-8339 FAX：0267-54-8339
 URL：<http://www.iwamura.com/>
 組合員数：61名
 商店街の種類：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

岩村田本町商店街振興組合は、旧中山道22番目の宿場町「岩村田宿」にある。商業の街としての長い歴史を有し、古くからの老舗が集まり、多様な業種で構成される地域型商店街である。長野オリンピック時の大規模開発により大型商業施設が多数進出し、商業環境が激変したことから、空き店舗が大量に生じる事態となった。これに危機感を抱いた若手が中心になって平成8年に組合を結成。ハード面の整備を進めるとともに、大型店との連携や子育て支援策、空き店舗対策等の活性化策に積極的に取り組んでいる。



実施した事業の概要

①「若手飲食店経営者」の人材育成事業

平成26年5月に商店街がディベロッパーとなり、多目的商業施設「つどいの館 中山道岩村田宿 こてさんね（こてさんね館）」を開設し、若手飲食事業者のチャレンジショップとして運営している。この「こてさんね館」への出店者に対し、スキルアップのための研修を専門家を招いて実施した。全4回の講義では、飲食店経営の基本から各店の活性化策までを学習した。

②集客力や販売力の向上が見込まれるイベント事業

近年、若手経営者を中心に商店街への出店が増え、勉強会に参加する等、活動が活発化している。やる気のある店舗の発掘や魅力ある店舗を増やすため、次のようなイベントを実施した。

- 1) 飲食で街を盛り上げよう「岩村田バル2014」（平成26年11月21日・22日）
 開始4年目の今回は39店が参加。各店ごとに工夫を凝らした一品料理を提供した。また距離がある店舗間の移動はタクシー会社と連携し回遊性を向上させた。
- 2) 「お客様ありがとう！えびす講マルシェ」（平成26年11月22日・23日）
 従前はお客様感謝の振る舞いが中心だったが、今回は岩村田に関わりのある店舗を紹介する目的を兼ね、商店街の街路に若手中心の店舗を出店。近隣高校生による「米粉のクレープショップ」等のチャレンジショップ、「こてさんね館」でも出店者7店のビュッフェ（食べ放題）を行い、350名のお客様で賑わった。



成果と成功の要因



岩村田バルの来街者数は、11月の来街者数としては当初の想定よりかなり多い1,150名に上った。街に埋もれていた店舗にスポットライトが当たり新たに注目される等、即効性のある飲食イベントであった。

事業実施後の通行量は、実施前に比べ23.4%増加し、ここ数年の商店街の取り組みとしては地域内外の人々から注目を集め、商店街そのものにも集客力・活気が高まりつつあると感じている。若手事業者が積極的に参加してくれたこともその要因の1つと考えている。

今後の取り組み

空き店舗数は一増一減で変わらなかったが、今後商店街の新たな事業としてインキュベータ機能を持たせたチャレンジショップの運営を予定しており、後継者育成と空き店舗数の減少を図って行く予定である。また、商店街の集客拠点での活動等を通じ、「年中いろいろなイベントをやっている楽しい場所」のイメージ定着と、Webでの情報発信やマスコミへの広報活動等を実施し、効果の上がる、継続的な運営を目指す。さらに、人材育成研修、バルイベント、マルシェについても自立運営できるスキームを整えて行く。